

矢作ダム

17号

2012.3

国土交通省中部地方整備局
矢作ダム管理所 広報誌



特集
国が行う災害支援
緊急災害対策派遣隊

TEC-FORCE

矢作水源フォレストランド通信

古民家を再生し、活用する試み「古民家リフォーム塾」第三弾！

今号の表紙



大井平公園「風のつり橋」

紅葉の名所、大井平公園から「道の駅どんぐりの里いなぶ」への遊歩道をつなぐ橋。名前は公募によって決められた。全長86m、幅2m。床板や欄干には三河産の杉を使用している。

矢作水源フォレストランド通信

矢作水源フォレストランドとは、愛知、岐阜、長野の3県・4自治体にまたがる矢作ダム水源地域の共通名称。平成18年3月に矢作ダム水源地域ビジョンを策定し、この地域の自立的、持続的な地域活性化活動を推進しています。このコーナーでは、矢作水源フォレストランドが行う活動の最新情報をお知らせします。

古民家を再生し、活用する試み「古民家リフォーム塾」第三弾！

過疎化や高齢化が進み人の住まなくなった家は、老朽化が激しく、美しい里山の景観を著しく損なってしまいます。しかし、そうした空き家の中には築100年以上にもなる古民家があり、文化的・建築的価値を併せ持つ地域の大切な資源ともいえます。

それら地域の財産を後世に残し、また、地域に人を取り戻すため、古民家を再生し、活用する試み「古民家リフォーム塾」を平成20年度から行っています。(平成20年度 農林水産省「農村漁村地域力発掘支援モデル事業」に指定)

3回目となる今回は、ますます田舎暮らし志向、古民家への興味が高まるなか、はるばる関東や関西、近郊都市から意欲いっぱいの方が参加。岩村城主が泊まれたと言われている、由緒ある通称「おやしき」など、3軒の古民家リフォームを行いました。

堀家の由緒

代々庄屋や組頭などの村役人を務め「おやしき」と敬称された家柄。農業のかたわら紙すきを業とし、名古屋の紙問屋に卸していました。豊かな財力で困窮した農民はもちろん、岩村藩旗本、米問屋などにも融資していたといわれています。



床板を剥がし、床下づくりを行います。



新しい床板を貼っていきます。



古民家によくある木の反りで、滑りの悪くなった建具の調整をしました。



「元あった姿に戻す」がテーマ。壁や天井の新材材は全て取り除きました。

東日本大震災による被災者の支援を行っています。震災直後は12名の被災者を、現在は3名の被災者を受け入れています。



国土交通省中部地方整備局
矢作ダム管理所

〒444-2841 愛知県豊田市閑羅瀬町東畑67
TEL.0565(68)2321 FAX.0565(68)2328
ホームページアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/yahagi>